

# 風をよむ

## No.80 2007.4.5

編集：共産主義者同盟首都圏委員会  
発行：ウインドベル・ファクトリー  
連絡先：新宿区西新宿 7-3-10  
山京ビル503-201

定価100円

年10回刊・送料込：2,500円

郵便振替：00170-0-655767

## 反改憲闘争の緒戦・国民投票法粉碎行動に 全力で立ち上げれ！

### 改憲阻止！米軍再編反対！沖縄連帯！4.30反戦行動

日時 2007年4月30日（月）13時開場

場所 恵比寿区民会館（JR「恵比寿」駅、東京メトロ日比谷線「恵比寿」駅下車）

沖縄より・金城実さん講演 他、神奈川・岩国から闘いの報告

主催 有事立法一改憲阻止 反帝国際連帯 反戦闘争実行委員会

### 米軍再編特措法案 辺野古事前調査 を許さない緊急集会

日時 4月14日（土）14:00～

場所 渋谷・宮下公園

主催 辺野古への基地建設を許さない実行委員会

#### 日本国憲法第九六条

この憲法の改正は、各議院の総議員の三分の二以上の賛成で、国会が、これを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行はれる投票において、その過半数の賛成を必要とする。

目下の、反改憲闘争の第一関門、緒戦の情勢は急を告げている。現在の国会における国民投票法の、旦夕に迫る、自公与党による強行採決の動きがそれである。全力を結集し、これを粉碎する行動への政治動員を行わなければならない。

三月二十七日、自公与党は、国民投票法案修正案を衆院憲法調査特別委に提出した。しかし、これに関わる審議はたった一回しか行われていないという。これに先立つ三月二十二日には中央公聴会、二十八日には新潟、大阪で地方公聴会が行われている。ここでは多数の慎重審議を求める意見、反対意見が提出されている。他方、民主党は、独自の修正案を準備すると共に、それへの同意がなければ与党案に反対する旨の意向を示したという。

この情勢のなかで更に、「共同通信」報道によれば、自民党の中川昭一政調会長は四月一日のNHK番組で、憲法改正手続きを定める国民投票法案の与党修正案について「ここまで来たら（野党は）政争の具にしている、やります」（これを、日糞鼻糞という）と述べ、与党単独でも一二日の衆院憲法調査特別委員会です決し、一三日の衆院通過を目指すと考えを強調

したという。  
ここに到れば、紆余曲折はあったものの、自公与党における、五月上旬までの「国民投票法案」成立のスケジュールは、ほぼ既定のものになったと考えるべきであろう。もともと、七月参院選挙を控えた、国会日程と、他の重要法案の山積からして、改憲を政治争点とすることに固執する限り、安倍政権にとって、この日程を大きく動かすことは出来なかつたのである。

### 大衆行動によって粉砕しよう

いまでもなく国民投票法案は、たんなる「新憲法」ではなく、何が何でも九条改憲を強行するための支配階級の布石である。ここで失敗すれば、支配階級の政治的正統性そのものが疑われるからである。それゆえに、当初からねんごろなすり合わせが行われ、選挙を控えた現在にいたって対立を強調するとき、自公と民主党との議会主義的駆け引きは、文字通り党利党略によるものであり、両者ともに、大筋において決定的な差違はない。従って大衆行動によって、これを粉砕することだけが求められる。この行動によって、与野党の境界を越えた、議会主義者における確信的な改憲派と反改憲派との分布も炙り出されることになる。また反改憲闘争を、手続き民主主義に切り縮める改良主義・日和見主義の限界も明らかになる。

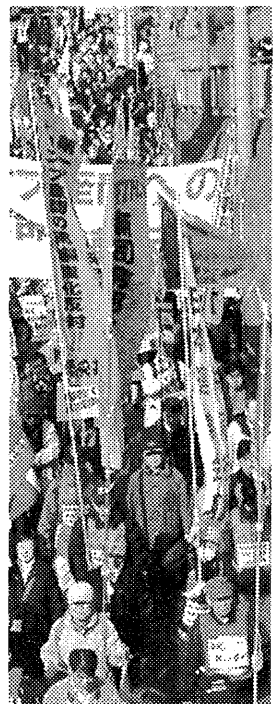
我々の見るところでは国民投票法案の主要な問題点は以下の七点である。繰り返すが、これらの民主主義的手続きをつうじて争うのは、プロレタリアには戦後憲法否定改憲、対外的には民族排外主義のイメージ操作を行うことよって、政権を維持しようとするドライブがかかる。

### 反改憲法闘争の緒戦に勝利しよう

国内においては、野党、マスメディアを含む挙国一致の翼賛体制に支えられ、かろうじてこの虚構は成立してきているが、対外的にはその破綻は隠しようがない。これが明瞭にならないのはマスメディアが報じないからだだけのことである。これを端的に示すのが、米国議会における、旧日本軍の軍隊慰安婦に関して日本政府の謝罪を求める決議の提出である。決議の採決は、四月下旬に予定される安倍首相の訪米以後とされているが、「軍の関与はなかつた」という首相をはじめとする閣僚、有力政治家の暴言が国際的には全く通用するものでないことが、もはや明らかになっている。靖国の存在と、その戦争賛美の展示もまた日本ファシズムの歴史への無反省の証拠として国際的な疑惑を生み出す。一方で安倍首相が声高に主張する北朝鮮による拉致被害との対比において、これは明

リアートの独自性を保持して憲法をめぐる階級闘争を行うためである。

- ① 国民投票運動への管理抑圧を行うこと。とりわけ公務員と教員五百万人超の関与を排除すること。原案における刑事罰こそ撤回されたが、「日の丸・君が代」と同様の行政罰が想定されている。
- ② 改憲原案の発議は、「内容において関連する事項ごとに行う」とされることにより、九条改憲を曖昧に行うことになる。具体的には「自衛隊容認」と、対外武力行使侵略戦争参加とが、抱き合わせて選択肢になるが如きである。
- ③ 現在の憲法調査会が「憲法審査会」に衣替えして、現有議席の比例配分により、改憲派優位の審議が、過半数決定で、しかも国会閉会中も含め通年的に改憲過程が進行することになる。
- ④ 改憲案の広報を行う「国民投票広報協議会」構成が、国会における政党の議席数によって配分されることにより、現状では改憲派の道具となること。マスメディアにおける無料広告にもこれは反映されざるをえない。
- ⑤ マスメディアにおける有料広告は投票の一四日前まで放任される。九条改憲を主張する経団連など財界、金持が資力にものを言わせる宣伝が垂れ流される。
- ⑥ 国民投票の運動期間が六〇日〜一八〇日とされており、意思決定の準備に疑問がある。
- ⑦ 最低投票率の定めがなく、投票の正統性が担保されない。



国際的孤立を深める安倍政権

らかなダブルスタンダードと受け止められている。米国議会における民主党の優位、ブッシュ政権の敗北は、日本の対米外交の劇的な破綻をもたらしている。安倍首相の四月訪米は瀬戸際のなものにならざるを得ない。これは直ちに東アジアにおける日本外交の行き詰まりにつながる。北朝鮮を巡る六者協議での日本の孤立はその象徴である。にもかかわらず安倍政権は、国内政治支持基盤の崩壊を取り繕うために一層の民族排外主義の主張をエスカレートせざるを得なくなる。これは出口なきジレンマであり、わが国支配階級には、その弱さのゆえにほぐしがたく絡み合ったこの矛盾の集積を一刀両断する力も見識もない。噴出するわが国ナショナリズムは、三月三〇日に文部科学省が公表した〇六年度教科書検定において、高校の地理歴史・公民で、沖縄戦の集団自決に関する日本軍の強制を否定する意見を生み出すに到った。政府は、これが日本帝国主義による沖縄併合に自壊的な作用をもたらすことも自覚できない。

日本社会のナショナル・アイデンティティの混迷は更に深まった。この状況における憲法をめぐる階級闘争が目下の焦点となりつつある。情報金

安倍・自公政権はますます窮地に立たされつつある。国民投票法与党修正案提出に先立つ三月二六日、〇七年度予算が成立した。この日から程なく国民投票法案修正案が与党から提出されているのだから、安倍政権にとつての政治的優先順位は実にわかりやすい。一般会計予算は、歳出額82兆9088億円、税収53・4兆円、新規国債発行額25・4兆円。予算審議はもっぱら低調で、松岡農水相の水光熱費疑惑が取りざたされただけ。政府は勿論だが、与野党、マスメディアを含めて、理屈抜きにとにかく予算成立を急いだことは確かである。国と地方自治体の累積債務一千兆円の問題は誰も取り上げず、消費税率引上げなど、増税は不可避であるにもかかわらず、どこにもまともな議論はない。すべては先送りされている。四月統一地方選と七月参院選を控えて、どんなにでたらめであろうが、良好なパフォーマンスを示しつつけることが安倍政権に要求されている。しかし親の七光、安いめつきはすぐはげれる。政権支持率の低落には歯止めがかからない。そこで国内的

融独占資本主義、全球化帝国主義のひとつの帰結である。労働者階級、被抑圧民族人民、被差別大衆の総力を挙げての反撃を、労働ピク・パン、福祉切り捨てとの闘いをその基礎として行われなければならない。現在の国民投票法案粉砕の闘いはまさしくその緒戦である。これに勝ち抜き、反改憲闘争の関門を切り開くことが問われている。その未来は、日本国家社会の根本的な転覆であり、東アジア、そして世界的規模での労働者階級人民の連帯秩序の創出である。共産主義者同盟首都圏委員会とともに闘おう！

- 四月五日(木) 中央公聴会
- 四月一日(水) 一八・三〇、
- 憲法と人権の日弁連をめざす集会(日弁連会館)
- 四月二日(木) 一八・三〇、
- STOP改憲手続き法4/12大集会(日比谷野音)
- 四月一七日(火) 一八・〇〇、
- 国会へ行こうアクション(衆院第二議員会館前)
- \*九条改憲阻止の会は平日一〇・〇〇〜一八・〇〇までハンスト座り込みを続行中



## セカイ系アニメという娯楽

【YouTube (http://www.youtube.com/) 動画サイトがある。】

オリジナル映像の投稿サイトとし、楽・映画・アニメ等の「不法」映像が増えた。資本主義的には、制作者が観られることから爆発的に閲覧者や著作権管理団体に対する権利侵害

云々が当然の話としてある。情報共有と共産主義の問題として立てれば、ありふれてはいても面白い話題だとは思いますが、YouTubeで観られる、YouTubeみたいなのがなければおそらく観ることもなかつた日本アニメの一面に表れるものに

ついで少し書いてみる。

アニメという点、私の世代では梶原一騎原作モノ、永井豪、松本零士、そしてガンダムへと、70年代後半、80年代前半に子供として楽しんだ。いい齢になってそれ以降のものを観てみると、「世界」と「私」の関係のあり方について、あれこれやっていくものが意外と多いことに気付く。食指の動かないライトノベルや現代文芸も実はそんな感じなのかもしれない。ざっとユーチューブで観たものを並べてみると、『エヴァンゲリオン』『最終兵器彼女』『エウレカセブン』『涼宮ハルヒの憂鬱』『キノの旅』『蟲師』等々。ちよつとしたヲタクになった。特に前二作は、セカイ系と呼ばれる。普段は冴えない特殊な能力を持つ主人公が、精神のブレに左右されながら世界そのものの命運と直結して、結果世界は壊れて別のものになってしまう。意志のあるロボットのようなものと、国家機構、恋愛・家族関係のトラウマとの絡みの中で描かれる。主人公の身近な数名の「セカイ」に、云億の人民の命運が多少の躊躇で託される。そこに個人と世界を媒介する多層の社会構成はない。これは絶壁のように個人と隔絶した世界、複雑・

強大に思える構造の翻りとも言えるか。附随した話題として「自分探し」や「旅」、あるいは「自殺」があるが、長くなるので次回に。

多層な社会構成が曖昧・無化され、「セカイ」に担保されていく個人。階級闘争的にはどうでもいい戯れ言でしかないかもしれないが、サブカルチャーの持つ影響力を階級観へと転化しえない左翼思想の脆弱さはある。かつては映画批評・音楽批評にしろ、対象を着にした無理強いな個我的発露として無数に展開されていた。「生の拡充」的な発露と、あるいは連赤に突出する裏腹にしか、新左翼がその先の「個人」の世界を見出しようもなかったということでもないが、ここ数年來の「若者の右傾化」と呼ばれるものは、個人というものに対する不毛感に根付いていると思えなくもない。それでも当然として我は持て余される。教育環境もメディアにおいても、半端に個性が求められる。その快樂的な在りようが『涼宮ハルヒの憂鬱』に表れている。無力さに悩むけど世界にまでは影響を与えない、「セカイ」と付き合いながら仲間と戯れて遊んじゃおう。

我の持て余しと世界の不明さが

「セカイ」を創る。これは無理強いな個我的発露と裏腹の、ただの移り変りの話でしかない。「全世界の獲得」「個に分断された云々」と同

根。時代的な経済情況・国際政治関係の視点なしに言えるものではないと承知の上で短絡化するが、なぜ一時代の者らは左になびき、今は今で「右傾化」を生むのか。「生の拡充」的な個人の発露に、エンタメ以外の何の希望もなければ、持て余される我を消費の中で弛緩させるしかない。前時代の学生運動の本懐は、無謀に「大文字の政治」を語ることにあつた。昨今の左傾した若人は、よく「身近な感覚で考えよう」と強調する。「いま・ここ」の論理。似たような物言いが多いので正直面白くないが、語られてきた「大文字の政治」に何の面白みも明解性も感じられないということ、我々の方が反省すべきことだろう。左翼の言動への違和感やその陳腐さに萎え、独自に論理立てて考え反撃するには、複雑・強大に思える構造。右翼的な言説には、それらを不問にした上で、文化防衛に集約される類いのロマンも働く。セカイ系も同様に不問を与えるが、無世界という意味では埴谷雄高の個人宇宙やカルト宗教とも遠

くはない。「身近な感覚で考える」ことが、一番無難でまともなことになる。

本来、政治的快樂を産み出す担い手は左翼にある。自由のため、理不尽な構造を变革する闘いであるからだ。しかし、個人というものに対する不毛感に苛まれる「セカイ」、あるいは文化防衛的な先祖帰りに表れる時代的な感覚を問わず、昨今の日本社会の情緒を単純に「右傾化」と呼んで片付けられるものではない。ただし、こうした浮遊感も混迷し格差化する経済状況・政治構造の中で延々と続けられはしないだろう。また劣化の一途をたどるこの国の「保守」政治権力が、それをどこまでもコントロールしようとは到底思えない。過剰反応する政治弾圧に、露骨な危機感が表れている。次回は、世界と「セカイ」の関わりとしての「自分探し」・野村浩也・小林よしのりについて。

※参考：Wikipedia（セカイ系）

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%BB%E3%82%AB%E3%82%A4%E7%B3%BB>